



Crosszone

クロスゾーンヘッドホン総合カタログ Ver.1

頭外へ広がる音と音場の解放感、 聴き心地の自然さ

ヘッドホン、イヤホンは、歯切れがよく迫力のある表現で音の輪郭を鮮明にしてくれます。

しかし、「何かが違う」「これは何だか疲れる」と感じたことはありませんか。「ヘッドホンで音楽をもっと自然に聴きたい」

「ヘッドホンでコンサートの臨場感に包まれたい」そんな願いを叶えたのが 2016年に発売した頭外定位ヘッドホンCZ-1です。

CROSSZONE が開発した独自の音響技術は、より躍動感のあるダイナミックな音と共に CZ-10 へと進化しました。

そして 2021 年、新たな技術を盛り込み、より生き生きとしてリアルな表現を実現した新世代ヘッドホン CZ-8A が誕生しました。

特にボーカルを魅力的に再生することを一つの目標として極めて高い完成度に到達しました。

CROSSZONE はヘッドホンリスニングの世界に、頭外へ広がる音と音場の開放感、聴き心地の自然さを届けます。

耳のすぐ近くで刺激的に鳴る音を和らげます。音楽空間の響きが広がり、クラシック音楽では、コンサートホールの

空間を感じていただけるでしょう。ロック、ジャズ、ポピュラー音楽などでは、

ミュージシャンの熱いメッセージがステージから心に染み入ってくるはずですよ。

ヘッドホンの永年の理想“頭外定位”を実現

従来のヘッドホンは、左右の耳元にあるドライバーによって生成される音場や音像が、頭の中で聞こえる“頭内定位”という問題を抱えています。多くの音楽ソースは、2チャンネルのステレオスピーカーで再生されることを前提に、声や楽器などの配置や空間の響きなどを調整し制作されています。しかし、頭内定位する従来のヘッドホンでは、音楽ソースに込められたこのような制作者の意図を正しく再現することはできませんでした。CROSSZONEはこの問題に着目し、デジタル信号処理に頼ることなく、アコースティックな手段で頭内定位の問題を解決しました。目の前に広がる音楽空間に、音楽ソースが持つ自然な音像、音場、響きが再現され、あなただけの極上の音楽空間を堪能できます。

ART (Acoustic Resonance Technology) による 自然な頭外定位を実現

部屋の中でステレオスピーカーで音楽を再生する時には、例えば右耳には、①右チャンネルスピーカーから直接届く音、②左チャンネルスピーカーから右耳まで回り込んで届く音、③壁などから反射しながら届く音、の大きく3つのルートからの音が届きます。CROSSZONE のヘッドホンは、ハウジング内にこの3つの音のルートを再現しました。①の主音源再生用の2つのドライバーユニット(高音用 / 低音用)と、②の逆チャンネルの音源を再生するもう1つの専用ドライバーユニットを搭載しています。①のルートと②のルートでは距離の差があり、時間差が発生します。また、③の反射音も時間差を伴って到達します。その時間差を独自の ADC (Acoustic Delay Chamber) 技術を用いてコントロールしています。また、それぞれのルートの音は周波数特性など時間軸以外の要素も変化して届きます。それらを総合的にコントロールしているのが ART (Acoustic Resonance Technology) です。すべてをデジタル信号処理ではなく純アコースティックな手法で達成し、音楽ソースを選ばない自然な音場を実現しました。

